

葉山町相談支援ファイルの使い方（ライフステージ別）

全部書く必要はありませんので、ご本人や保護者が安心して生活していくため必要だと思われることを書きましょう。

何かの相談の折にファイルを使うと、関係機関とご本人の情報が共有しやすくなり、より良い支援を考えることができるようになります。

就学前のお子さんのご家族へ

妊娠・出産時の状況や、乳幼児期の発達経過、気になっていたこと、既往歴等について記録しておきましょう。後からお子さんの支援のために大変役に立つ情報になる場合があります。

幼稚園・保育園の先生との面談時等にファイルを持参し、お子さんへの対応方法を一緒に考えてもらうようにしましょう。また内容を記録しておくようにしましょう。心理発達相談員や言語聴覚士等の専門職と面接する場合には、ファイルを持参し、相談したことや、助言内容を記録しておくようにしましょう。

町の療育機関の「たんぽぽ教室」で支援を受ける場合は、参加したときの様子等を記録しておくようにしましょう。また、教室での「個別支援計画」の写し等を綴じないようにしましょう。

「たんぽぽ教室」で医師による医療相談を受けた場合には、医師からの診察結果や、助言内容を記録しておくようにしましょう。

民間の療育機関の「児童発達支援」等を利用された場合には、参加した時の様子等を記録しておくようにしましょう。

医療機関を受診する時にはなるべく持参しましょう。特に児童精神科を受診される時は、医師からの診察結果や助言内容等を記録しておくようにしましょう。「診断書」等がある場合には写しを綴じておくようにしましょう。

小学校入学前に、学校教育課で「教育相談」を受ける場合には、ファイルを使ってそれまでのお子さんの様子を伝え、就学後にどのような支援があったらよいかを検討する上で有効です。

入学を予定している小学校にファイルを使ってお子さんの状況を伝え、ご家庭と学校の先生との間で必要な情報を共有することができ、今後のお子さんの学校生活の支援に活用することができます。

小学校の「特別支援学級」や「特別支援学校」への進学や「ことば・きこえの教室」への通級支援を検討され、学校教育課で「就学相談」を受ける場合には、ファイル

を使ってそれまでの様子を伝えると、お子さんにとっての望ましい学習環境を検討する上で大変有効です。

児童相談所で発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定等を受けた時には、記録しておくようにしましょう。

小学生のお子さんのご家族へ

小学校での様子や、本人の得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、熱中していること、友達との関係等、お子さんの成長の過程を記録するようにしましょう。

保健記録や成績表なども綴じておくこと今後の支援の参考になります。

学校の先生等に相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。

学校の「個別の教育支援計画」等の写しがある場合には、ファイルに綴じるようにしましょう。

進級時等には、次の担任教諭にファイルを使ってお子さんの今までの経過を伝えることでお子さんへの支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けることができます。

中学進学時には、入学を予定している中学校にファイルを使ってお子さんの状況を伝えると、ご家庭と学校の先生との間で必要な情報を共有することができ、進学後のお子さんの支援に活用することができます。

医療機関（児童精神科等）を受診される時にはなるべく持参し、今までのお子さんの経過をファイルの情報を使って説明するようにすると、明確に伝えることができます。また医師からの診察結果や助言内容等を記録するようにしましょう。「診断書」等がある場合には写しを綴じておくようにしましょう。

児童相談所等で発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定を受けた時には、記録しておくようにしましょう。

民間の療育機関の「放課後等デイサービス」等を利用された場合には、参加した時の様子等を記録しておくようにしましょう。

「特別支援学級」、「特別支援学校」や「ことば・きこえの教室」での通級支援を受ける時にも、ファイルを使ってお子さんの状況を伝えるようにしましょう。また教室に参加した時の様子や、教室での助言内容を記録するようにしましょう。

不登校等の支援のためのフリースクール等を利用される時は、ファイルを使ってご

本人の状況を伝えるようにしましょう。またスクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録するようにしましょう。

中学生の方とそのご家族へ

中学校での様子や、得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、熱中していること、友達との関係、部活動での様子等、生活の様子を記録するようにしましょう。

保健記録や成績表なども綴じておくこと今後の支援の参考になります。

学校の先生等に相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。

学校の「個別の教育支援計画」等の写しがある場合には、ファイルに綴じるようにしましょう。

進級時等には、次の担任教諭にファイルを使って今までの経過を伝えることで、ご本人への支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けやすくなります。

高等学校等進学時には、入学を予定している高校等にファイルを使って状況を伝えると、ご家庭と学校の先生との間で必要な情報を共有することができ、進学後のご本人の支援に活用することができます。

医療機関（児童精神科等）を受診される時にはなるべく持参し、今までのご本人の経過をファイルの情報を使って説明するようにすると、明確に伝えられます。また医師からの助言内容も記録するようにしましょう。「診断書」等がある場合には写しを綴じておくようにしましょう。

児童相談所等で発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定を受けた時には、記録しておくようにしましょう。

民間の療育機関の「放課後等デイサービス」等を利用された場合には、参加した時の様子等を記録しておくようにしましょう。

就労する場合には、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。

不登校等の支援のためのフリースクール等を利用される時は、ファイルを使ってご本人の状況を伝えるようにしましょう。またスクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録しておくようにしましょう。

高校生の方とそのご家族へ

高校での様子や、得意なこと、苦手なこと、その時に好きだったこと、熱中していること、友達との関係、部活動での様子等、生活の様子を記録するようにしましょう。

保健記録や成績表なども綴じておくこと今後の支援の参考になります。

学校の先生等に相談される時にファイルを提示すると、過去の様子も伝えやすく、今後の支援が検討しやすくなります。

学校の個別の支援計画等の写しがある場合には、ファイルに綴じるようにしましょう。

進級時等には、次の担任教諭にファイルを使って今までの経過を伝えることで、ご本人への支援のポイントが明確になり、継続的な支援をスムーズに受けやすくなります。

医療機関（精神科等）を受診される時にはなるべく持参し、今までのご本人の経過をファイルの情報を使って説明するようにすると、明確に伝えられます。また医師からの助言内容も記録するようにしましょう。

医療機関（精神科等）からの、「意見書」や「診断書」等がある場合には写しを綴じておくようにしましょう。

児童相談所等で発達に関する相談をした時や、療育手帳の判定を受けた時には、記録しておくようにしましょう。

民間の療育機関の「放課後等デイサービス」等を利用された場合には、参加した時の様子等を記録しておくようにしましょう。

不登校等の支援のためのフリースクール等を利用される時は、ファイルを使ってご本人の状況を伝えるようにしましょう。またスクールに参加した時の様子や、スクールでの助言内容を記録するようにしましょう。

相談支援事業所に相談をする時に、ファイルを使って相談すると、今までの経過も含めて過去の様子も伝えやすくなり、今後の支援検討が行いやすくなります。

就労する場合には、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。

大学生・社会人等の方とそのご家族へ

学生の方は「学生相談室」等で学生生活全般のご相談をされる時などにファイルを使って頂くと、困っていることの要因が伝わりやすくなり、サポートのあり方を一

緒に考えやすくなります。

就職先を探す時にも、ファイルを使いながら相談すると、望ましい就労環境の検討が行いやすくなります。

相談支援事業所に相談をする時に、ファイルを使って相談すると、今までの経過も含めて過去の様子も伝えやすくなり、今後の支援検討が行いやすくなります。

既に就労している社会人の方は、健康管理室等で相談される時に相談内容や結果を記入しておかれると、就労環境の調整に活用できます。

医療機関（精神科等）を受診された時には、医師からの診察結果や助言内容も記録するようにしましょう。

会社の産業医等に相談する時にも、ファイルを使いながら相談すると、就労環境の調整等に活用できる場合があります。